都市的土地利用の整序・集約化と自然環境の再生・活用(その1)

【特にご検討いただきたいポイント】

1. 都市的土地利用の集約化等のイメージ

都市的土地利用の集約化等の対象なり得る地域は、①大都市郊外部、②地方中小都市であり、また、集約化等の目的や施策イメージは両地域で異なるものとする。こうした考え方は妥当か。

さらに、集約化等の必要性についてどう考えるか。

	目 的	施策イメージ(案)
大都市郊外部 ●土地利用の整序	①都市経営のコスト削減 ②エネルギー消費とCO2排出量の削減など環境負荷の低減 ③良好な地域空間の創出	①土地利用の整序 ②整序で生じた空間を活用した緑地の創出 ③駅など交通結節点を核とした地域づくり ④公共交通へのシフト
地方中小都市 ●都市的土地利用の集約化	①中心市街地の活性化など地域の活力の維持・向上 ②都市経営のコスト削減 ③良好な地域空間の創出	①都市的土地利用の集約化 ②集約化で生じた空間を活用した自然環境のネットワーク的保全 ③歩いて行けるまちづくり ④公共施設等の中心部への回帰

2. 国の役割、全国計画で記述する意義

都市的土地利用の集約化等の有効性、実施可能性、具体の実現方策は、地域によって異なる。しかし、都市的土地利用の集約化という考え方自体は、多くの地域で適用可能であるし、これまでの拡大基調を大きく転換するものであることから、国として、全国計画の中で提示すべきテーマであると考えられる。こうした考え方は妥当か。

※第4回研究会では、実現のための方策を中心に検討する予定。